


【件名】	路面補修工事（29二の12）及び大井陸橋維持工事（橋面舗装）（その2）	【事務所名】	第二建設事務所	
【工事場所】	東京都品川区東大井五丁目地内から同区大井四丁目地内まで（特例都道東品川下丸子線（第421号））	【受注者名】	丸藤小林土木株式会社	
【工期】	平成29年10月10日から平成30年3月27日まで	【主たる技術者名】	加藤 元基	

## 【工事概要】

本工事は特例都道東品川下丸子線（第421号）において、橋梁（大井陸橋）を含む都道の路面補修工事等を行ったものである。

施工延長は本線延長で429m、そのうち218mは橋面舗装の打替えである。

## 【表彰理由】（※発注者側評価）

夜間施工を昼間施工にするなど施工条件の変更が生じたが、施工計画変更を適切に行った。

また、防音対策や除雪作業を積極的に行い、近隣への配慮も万全であった。



施工前



施工後

## 【受注者の声】

- ◇ 苦労した点  
地先住民の強い要望の為、終点部付近の三つ又交差点の施工が昼間施工となった。交差点付近では他企業工事（ガス）も行われており、工程調整や住民車両の出入調整に苦労した。
- ◇ 特に工夫した点  
特に橋梁部分の舗装版撤去作業時騒音の苦情が生じないように、撤去作業を23時まで完了するよう作業人員の増員・撤去機械の増量・防音パネル等の使用を行った結果、苦情等を貰うことはなかった。
- ◇ 現場で得られたやりがいや達成感  
毎週行っていた地先住民への週間工程配布時に、「日々道路がきれいになっていって嬉しい」等の言葉を頂き、やりがいや達成感を得られた。
- ◇ 建設業の将来を担う若手技術者や学生に対し伝えたいこと  
舗装工事では日々の施工が完成形となる。仕上がりや出来栄を常に意識し、安全に細心の注意を払い施工を行うため、入念な計画や段取りを要するが、完成した時の喜びはひとしおである。



終点部付近の三つ又交差点の施工